

なまけ者が自由を掴む行動論

著者

根崎優樹

はじめましての人も、お久しぶりな人も、改めまして根崎優樹です。
株式会社チャートマスターをやっています。

これからあなたに情報商材屋やアナリスト（解説屋）では絶対に教えられない、
本当の・・・、いや、「本来の」投資と言うものを話していこうと思います。

ただただ「**お金だけ**」を追い求めるわけではなく、かと言って机上の空論で
自由になった「**気分だけ**」を味わうわけでもなく、実際に僕自身が体現してい
るように・・・僕がトレードを教えてきた生徒さん達が体現しているように・・・

「しっかり稼いでしっかり楽しむ！」

という、フリースタイルな生き方を手に入れる為の手法・・・

そう。

「**フリスタ（フリースタイル）トレード**」の**全貌**を話していこうと思います。

しかしその前に、きっとあなたは僕のことをご存知ではないと思いますので、
まずは簡単に自己紹介をさせて頂きたいと思います。

その上で、フリスタの詳細は明日お話ししようと思っています。

なぜ明日か？

それは、僕の"全て"と言えるものが僕の過去・・・今日までの生い立ちに秘めら
れていますので、今まで話してこなかった過去の全てをお話した上で、その上
であなたが、

「根崎優樹の話しなら聞いてみたい！」

そう思って頂けたなら、あなたもきっとフリスタを使いこなして頂けると思う
からです。

逆に、今日僕が話すことを聞いた上で、あなたが「何も感じない」って場合は、
恐らくフリスタトレードを使いこなすことは難しいと思います。

目先の問題として使えたとしても（極論、真似すれば良いだけなので…汗）、きっとあなたは「生涯使える武器」というところまでは昇華出来ないでしょう。

ですから、今日の話・・・僕の根本部分をつかさどるコアに触れて頂いて、その上で「フリスタ」の詳細をご覧になるかどうか決めて頂きたいのです。

興味がわかなければ続きはご覧頂かなくて構いませんので。

宜しいでしょうか？

僕のことをご存知の場合も、今まで話してこなかった事も全てお話しますので、知っていることも多々あるかも知れませんが、ぜひ最後までお付き合い下さい。

それでは早速。

僕は1985年に東京都板橋区で生まれ、2021年9月2日に36歳をむかえた専門トレーダー。株式会社チャートマスターの根崎優樹です。

物心がつきはじめた4歳頃に父の仕事の関係でマレーシアに移住し、7年間をマレーシアで過ごすことになります。

日本に帰国してからわずか1年ほどで、今度はアメリカのオハイオ州、クリーブランドに移住することになりまして、そこで6年間を過ごしました。

18歳の時点で日本で生活したのは過去5年間だけ・・・という状態だったので、まだ小さな子供の時から「世界」をもの凄く近く感じていましたし、むしろ[日本の文化に違和感](#)さえ感じていたんですね。

例えば、良い大学に入って有名企業に就職することが「勝ち組の定義」とか、「汗水たらして働くことが美学」とか、そういう文化に異常なほど違和感と嫌悪感を抱いていたんです。

ここでちょっと補足させていただきますと、僕が1人っ子だった為か、祖父母には溺愛されていたんですけど、そのせいもあって根っからのおじいちゃんおばあちゃんっ子だったんですね。

僕を愛してやまない祖父母と、祖父母を愛してやまない僕。

そんな祖父母から「大学に行け！」と言われた僕は、日本の文化に嫌悪感を持ちながらも、大学に行くことにしました。

しかし本音は・・・

「大学に行って何か意味があるのだろうか？」

「有名企業に就職しても、今の時代はリストラの嵐じゃん」

「世界的に見たら日本って国の国力自体が危ぶまれてるのに…」

こういう気持ちの方が強かったこともあり、どちらかと言えば「大学に行けば友達が出来るかな？」という動機で、帰国子女のテストにおいて倍率が1番低かった「上智大学」に入学しました。

18年間の人生の中で日本に住んでいたのはわずか5年・・・

その内の4年は0歳～4歳という幼少期だった僕は、当然ですが日本に友達なんか1人もいません。

「友達がほしい！」

という動機はバカバカしく聞こえるかも知れませんが、当時の僕にはメチャクチャ大きな大きな問題だったんです。

ですが、世界を転々としていたせいなのか…遠慮しない文化のアメリカ生活が長かったせいなのか…それとも天性のものなのか分かりませんが、人と仲良くなるのが得意な性格だったので、大学に入ってからあっという間に多くの友達ができ、わずか半年で自主退学してしまったのです。

「友達を作る！」という目的を達成したから・・・という理由で。

実は僕が大学を辞めるという話をした時、祖父母からは大反対されていたんですね。

僕は当時、父の影響で「株式トレード」を始めたところだったのですが、本気で株のトレードで食っていくつもりでいました。

祖父母から「大学を辞めてどうするつもりだ？」と問いただされた時も、「トレードで食っていく！」と答えていたくらい本気だったのですが、真面目でしっかりものの祖父は大反対。

「大学を出て一流の企業に努めて安定した生活を送るのが1番だ！
お前は400mトラックの4分の1も走ってない。
大学中退者はどうしたって中小企業でしか働けないようになる！」

そう言って涙目で語っていた記憶が強く残っています。

実は祖父と僕には大きな大きな因縁じみたものがありまして、僕の人生において欠かせない必要なキーを握っているのが祖父なんです。

その点に関してはまた別の機会にお伝えしますが、あえて**人生の中で「たった1人」だけ、最も影響を受けた人物を挙げるとすれば、それは間違いなく「おじいちゃん！」**と答えるほど、僕にとっては**欠かせない人物**なんですね。

そんな祖父の反対を押し切って大学を中退し、父の影響ではじめた「株のデイトレード」で食っていくつもりだった僕ですが、その悪巧みはあっという間に夢となって儚く散っていくことになります。

トレードを始めた当初はビギナーズラックもあって、100万円（父から借金）の自己資金が300万円になったのですが・・・あれよあれよという間に資金は0（ゼロ）円に。

アメリカ時代に仲良くなった友達（ギリシャ人）のピートに相談したところ、

「株なんかやめてF Xをやれよ！F Xは株より儲かるぜ！」

と誘われまして、引越のサカイで10日間バイトをしてギリシャへの渡航費を稼ぎ（後にも先にも働きに出たのはこの1回）、サモス島という小さな小さな島でピートと再会しました。



ピートに教えてもらったF X（外国為替証拠金取引）は非常に魅力的で、

- ・ 1日の流通金額は300兆円～500兆円にものぼる莫大な市場
- ・ 市場規模が大きいのので意図的な"操作"で市場が動かない
- ・ 市場規模の大きさはそのまま"統計学"の法則に従うから読みやすい
- ・ 相場が24時間あいているので"好きな時に"取引できる
- ・ 為替市場が無くなる時は資本主義が終わる時だから、まず無くなる事は無い
- ・ レバレッジが効くから小さな資金（1万円とか）でも大きく稼ぐ事が出来る
- ・ PCとインターネットさえあれば"どこでも"出来るから場所を選ばない

このようなピートの話しに僕は素直に感心し、株ではなく F X に転身することを決断しました。2005 年 8 月のことです。

「どうせやるなら極めたい！！」

そう考えた僕はピートに「F X でプロトレーダーになるにはどうしたら良いか？」と質問し、とある「投資教育機関」を教えてもらったのです。

それが世界一の投資先進国であるアメリカにある、

「**Concorde Forex Group** (コンコードフォレックスグループ) ※通称: C F G」

という投資スクールでした。

CFG はアメリカのバージニア州にある世界一の投資教育機関で、ブッシュ元大統領にも表彰されたことのあるアメリカ最大の投資スクールなんですね。

そこはまるでお城のようで、その広大な敷地は全て CFG が保有している・・・

講義を受ける講義ルームにあるプロジェクターは何百インチという代物・・・

講師の先生方は総勢 150 人いたのですが、その全員が億トレーダー (100 万 \$ 超えの成績)・・・

生徒数は 6,000 人にも及ぶ大所帯でしたが、あまりの厳しさに去る者も多かったのが印象に残っています。

そんな CFG・・・ちょっと普通の学校とは違って、3 泊 4 日の研修を毎週受け続けるようになっていて、その期間中は合宿所に泊まりこみで F X 漬け…。

しかも、当時僕はオハイオ州クリーブランドに住んでいたのですが、そこから 800 キロの道のりを車で 10 時間かけてバージニア州まで通っていました。(汗)

CFG での合宿期間中は朝 7 時起床。

そこから食事を摂って広大な敷地内を散歩するのですが、これはトレード前の準備運動みたいなもので、10 時になると講義&トレードの実践訓練がスタートします。

ここからは朝から晩までず〜〜〜〜とトレード漬け。
1 日中モニターに穴があくほどチャートを見続けていました。

講義はもちろん英語。

僕の場合、もともと英語は普通に話せますが、投資の専門用語とかまでは日常会話で使いませんから、知らない単語を覚えるのに最初はメチャクチャ大変でした。

極めつけは・・・・この CFG では全てのカリキュラムが終わった後に卒業試験があるのですが、その試験内容はなんとなんと、

「50 連勝すること！」

というバカげた課題だったんですね。

FX をやったことが無い人にとっては「50 連勝」というのがどれほど無茶苦茶な課題かは想像できないかも知れませんが、「ジャンケン」で 50 連勝する事をイメージしてもらえば何となく分かるかと思いますがいかがでしょう??

「いやいや・・・・ムリでしょ? (大汗)」

って思いますよね?
要はそういう事なんですね。

時々 FX のことを「ギャンブルだ！」なんて無知な人が言っているのを見かけますが、ギャンブルだったら 50 連勝なんてほぼ不可能。

いくら難易度が高いと言っても、それを「現実的に可能にしている」のは、ギャンブルではなく、しっかりとした根拠に裏付けされたトレードをしているからなんです。

もちろん、原理原則と正しい手法無くトレードすることは「ただのギャンブル」ですが、CFGのような世界最先端の投資スクールで教えられる理論を使えば、ギャンブルではなく「本物のトレード」となるわけですね。

そうは言っても「50連勝」と言うのはさすがにぶっ飛び過ぎてる課題だったので、何度も何度もチャレンジと挫折を繰り返す日々でした。

今思い出してもゾッとするくらい過酷な日々だったのですが、あまりの辛さに挫折しそうになり、日本にいる両親に電話したことがあります。

「もう無理かも知れない・・・」

そう弱音を吐いていた僕に、父は静かにこう返してくれました。

『得易しとなすと雖も、また失い易し』

つまり・・・

「簡単に手に入るものは、またすぐに失いやすい。苦労して掴めば本当の意味で身につくから、ここで諦めずに頑張れ！」

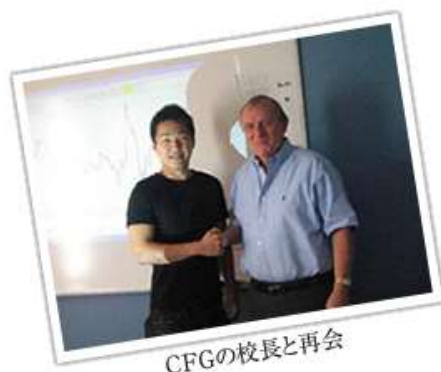
ということ。

この言葉のおかげで僕は踏みとどまることが出来まして、またチャレンジする勇気が湧いてきたんですね。

それからまた何度も何度も繰り返すチャレンジの中で、カリキュラムの本当の意味・・・チャートの読み解き方、そしてそれらのバランスを取ることで1つ1つが紡ぎ出す「ある方法」に辿り着きました。

それから僕の快進撃がはじまりまして、連勝につぐ連勝で課題だった「50連勝」を突破し、まさかまさかの「62連勝」することに成功したのです！

そうして無事にこの無理難題をクリアし、わずか1年でCFGを卒業することが出来ました。



CFGの校長と再会



しかも僕はアジアで唯一の卒業生で、当時19歳だった僕は世界最年少の卒業生という偉業も成し遂げたのです。

CFGに入ってみて分かったことは、世界一の投資先進国であるアメリカにおいて「FX」と言うのは最もポピュラーな投資で、CFG内で株のトレーダーはほとんど見かけませんでした。

皆FXだったんです。

「あ、やっぱりFXがベストなんだ・・・」

そう確信したのもCFGのおかげです。

無事にCFGを卒業した後、日本に帰国してからは完全な専業トレーダーになってトレード漬けの毎日だったのですが、何と云うか「突き抜けない」感覚に支配されていました。

労力の割に大きな利益を生んでいないとか、勝ってるはずなのに利益が残っていないとか、時々へんなミスをやらかして損失を出すと補うのは果てしなく大変だったりとか・・・

何かがおかしい・・・

何か上手く噛み合っていない・・・

そういう感覚で日々が過ぎていっていたのですが、そんな時期に「浅田修司さん」という方に出会う機会がありました。

浅田さんは書籍なども出されているトレーダーなのですが、この出会いがきっかけで僕の日本における師匠となる方です。

※ちなみに・・・CFG から続くアメリカのメンターはスコットと言います。



そんな浅田さんが僕に教えてくれたこと・・・

「負けないトレードが最強」

これだったんです。

後に詳しくお話しますが、当時の僕は「勝つ！」ってことにこだわり過ぎていて、守りの部分がどこかで疎かになっていた・・・

言ってみれば盾も持たずに槍だけ持って戦場に出向くようなもの。

増やすことばかりに目がいき、お金を失うリスクを真正面から見ていなかった。

「勝ってさえいれば失うことは無い！」という屁理屈で突っ走っていたところがあったのです。

振り返れば CFG でも散々教えられたことが「**リスクコントロール**」という概念。

改めて浅田さんに徹底的に叩き込まれたのもリスクコントロール。

1度の負けで資金を吹き飛ばすようなトレードは話にならないし、かと言って本来得られるはずの利益を損なうようなトレードも話にならない。

適切かつ最適。

リスク（損失）とリワード（収益）のバランスや、体力や時間などの物理的な問題も踏まえた上で、バランスの取れたトレードが最も重要だったのです。

明日お届けする「フリスタトレードの秘密」というレポートにて詳しく解説しますが、リスクコントロールと言うのは「6つの概念」で形成されるものなのですが、これが僕の腹のど真ん中に「デンッ！！」と構えたこの時から、僕は本当の意味で「プロトレーダー」になれたのです。

そこからと言うもの、大きな資金を吹き飛ばす（負ける）ような事はなくなり、
当初20万円で再スタートした資金はいつの間にか1億円に膨れ上がるほどになっていました。

そうして常勝トレーダーの道を歩き始めたある日・・・大学時代の友達から、

「FXって何？儲かるの？俺にも教えて！」

と、お願いされました。

あなたもご存知だとは思いますが、日本人の「投資リテラシー」の低さは先進国の中でもダントツです。

アメリカでの常識が日本での非常識・・・

僕もCFGに通うまでは詳しい方ではありませんでしたが、投資がどんなものなのか？預金するくらいなら運用でしょ？という思考は持っていたんですね。

幼少期からの13年間に及ぶ海外生活が、僕の思考を日本人的な思考から離れたものにしてしまったからだとは思いますが、それにしても日本人の投資に対する知識の低さに愕然としたのを今でもよく覚えています。

そういう背景もあって友達にFXを教えることにしたわけですが、この友達のように思っている人は他にもいるだろうと。

投資をやってみたいけど怖くて出来ない人もいるだろうと。

始めてみたけど大損を出してしまった人もいるだろうと。

そういう事を踏まえて、2006年4月に「**株式会社チャートマスター**」を設立しました。**FXの教育事業**を行う為に・・・

「今のままじゃ投資で大損する人が後を絶たないだろう・・・」
「このままじゃ投資関連で騙されたり詐欺にあう人が続出するだろう・・・」
「これからの時代、アメリカやイギリスなどの投資先進国に食い物にされる・・・」

こういった危機感を覚えた僕は、チャートマスターで日本の投資教育の一環を担おうと決意し、投資教育活動をスタートすることにしたのです。

9千人への指導と2万人を超える人への講義

僕がチャートマスターをはじめた当時はホントに最悪中の最悪で、すでに情報商材の類も出回りだしていましたが、これが最悪を加速させる原因になっていました。

どういうことかと言うと、例えば当時売れていた「とあるFX商材」と言うのは、「ロスカットするな！スワップで儲けろ！」という内容だったんですね。

※スワップとは金利のことだと思ってください。

この商材は売れに売れて4,000人が実践していたと聞いています。

で、この後どうなったか??

ご存知のようにサブプライムやリーマン・ショックが立て続けに起こって、
この4,000人全員・・・4千人もの人々が「資産を吹き飛ばす」という最悪の結果を招いたんです。

当時から僕は「ロスカットは絶対に入れなきゃいけない！」と声を大にして話していたのですが、それでもロスカットを入れずに資産を飛ばした方々が僕の元に殺到しまして、いっきにチャートマスターの生徒さんは膨れ上がっていったのです。

本来僕がしたかったこと。

それは・・・

「大きな損失を出さない為にチャートマスターで学んでほしい」

そう思って始めた投資教育事業だったのですが、皮肉なことにチャートマスターに生徒が集まるきっかけになったのは、大きな損失を出してしまったが為に、本物のトレーダーに学びたい！って人が増えたことだったのです。

かれこれ15年以上になるチャートマスターは、それから延べ 9,000 人の人に F X を教えてきて、セミナーだけ受講してくれた人達も入れると、2 万人を超える人に F X を教えてきました。



この間、僕自身の「トレードスタイル」というものも変化していったのですが、そのきっかけは、

「俺は何の為にトレーダーになったんだっけ？」

と言う自問自答でした。

多くの生徒がいる手前、常に「大きく勝つ！」という事を見せなきゃいけない。
「何千万円稼いだよ！」などの実績を出し続けなきゃいけない。
生徒たちにも夢を見せてあげなきゃいけない。
自分もそうなる！という道を示してあげなきゃいけない。

こういう感覚に支配され、いつの間にか僕は自分で自分に「稼ぎまくること！」
を義務付けられ、お金に支配され縛られる生き方になってしまっていました。

僕が学生の頃・・・株のトレーダーになろうと決めた「単純な理由」は、**場所
や時間や人間関係、そしてお金にさえも縛られない自由な生き方がしたかった
から**です。

それなのに・・・・・・・・・・

それなのにいつの間にか僕は、**時間にも場所にも人間関係にもお金にさえも縛
られ、不自由この上ない生き方をするようになってしまっていたのです。**

この現実気付いた時は、本当に自分が情けなくて、悲しくて、悔しくて、
自分自身が歩いてきた道の全てを否定したくなりました。

しかし、その現実気付けただけで幸せだと思うようにしまして、改めて自分
自身の「スタイル」を見つめなおし、「真の自由」を追い求めるようになったの
です。

真の自由とは？

僕の言う「真の自由」とは、僕が学生の頃に夢見た生き方そのもので、場所にも
時間にも人間関係にも、お金にさえ縛られない生き方のことです。

僕は「お金持ちが偉い！」とはこれっぽっちも思いません。

お金を稼いだことが出来ることに対して尊敬はしますが、だからと言って「偉い」とは思わないんですね。

きっとあなたもそうだと思いますがどうですか？

ですが、自分自身にお金を稼ぐ能力が無いと心のどこかで「羨ましい」という気持ちが芽生えてしまい、**時間や場所や人間関係を犠牲にして**「稼ごう！」という風に考えてしまいがちです。

しかし僕には、**いつでも、どこでも、好きな時に、好きなだけ、相場と言う「貯金箱」からお金を引き出せる能力がある**わけです。

それなのに、なぜまだお金を追い求めなきゃいけないのか？

そう考えてからは、お金にも縛られることは無くなりました。

このレポートをご覧頂いているあなたにも、しっかりと自分自身の胸の内と向き合って頂きたいのですが、あなたが本当にほしいものは何でしょうか？

少なくとも正しい知識と正しい手法でトレードに取り組めば、お金を稼ぐ！ってことは実際問題として難しい問題ではありません。誰にだって出来る事です。

トレードで勝ち続ける能力が手に入ってしまうえば経済的な不安からは開放されているわけですが、それなのに、生活の全てをトレードに捧げるような人生で、本当に楽しいでしょうか？

朝から晩までチャートと睨めっこして、パソコンに向かってカチカチとクリックし続けることが、あなたが望んでいる人生なのでしょうか？

少なくとも僕の夢見た「真の自由」とは、そういう人生ではありませんでした。

僕は「真の自由」を手に入れる為にトレーダーになったわけで、トレードに縛られて生きる人生は本末転倒なんです。

縛られてばかりの人生は自由とは言えません。

好きな時に好きなことが出来て、行きたい場所に行きたい時に行き、尚且つストレスを抱えず好きなだけ稼ぐ生き方が、僕の言う「**真の自由**」なんです。

こうして僕は「**プロトレーダー**」から「**フリースタイルトレーダー**」へと、自分のトレードスタイルそのものを変化させていきました。

ただ・・・・・・・・

これは口で言うほど簡単なものではなく、またしても僕は試行錯誤の日々に突入していくことになります。

「トレード回数そのものを減らして1度に大きな利益を得るには？」

「トレード回数を減らすには勝率そのものを高めなくてはいけない・・・」

「ポジションを持ってるストレスを解消する為にはどうすればいいか？」

「ストレス解消の為にストップ（ロスカット）を小さくしなくてはいけない」

「ローリスクハイリターンというスタイルを確立するにはどうすべきか？」

「どこでもトレード出来るようにするには、シンプルでなければいけない」

「複雑なチャート分析では出先でトレードするのは難しい・・・」

「明確なサインで無ければトレードチャンスを逃してしまう・・・」

「無駄なエントリーを無くした上で、エントリーに迷わないでよくなるには？」

こういう問題を"全て"解決しなければ、僕の夢見た「真の自由」は手に入らなかったもので、検証に検証を重ねまくる日々が続きました。

夢を実現するべく、F Xをはじめるきっかけになったピートにも相談しましたし、CFG 時代からのメンターであるスコットにも日本の師匠である浅田さんにも相談しました。

そんな試行錯誤の日々の中で、オーストラリア人の「ジョナサン・フォックス」という人物に出会い、彼が僕の理想のトレードスタイルを実現していましたので、ジョナサンにも相当相談しました。

そうして、1年ほど検証につぐ検証を繰り返してようやく辿り着いたのが「**フリストレード**」だったんですね。

こうしてフリースタイルトレーダーとして真の自由を掴むことが出来たのです。



真の自由を手に入れた僕は3年間くらいバックパッカーとして世界を放浪して、資金が底をついたらサクッとF Xで稼いでまた放浪する・・・という旅をしたのですが、この旅を通じて今まで見えなかった世界を見ることが出来ました。

世界の真実に触れることが出来たと言えば良いのでしょうか？

良いことも悪いことも含めて、本当に世界は広いんだってことを実感しました。

しかし・・・

実は僕には、ここまでの話しで語って来なかった「もう1つの夢」があります。

途中で少し話を濁した「祖父との因縁」とも繋がることなのですが（その因縁に関しては長くなるので別の機会に話しますね）、僕は自由な人生を生きるという夢とは別に、

「最強のトレーダー集団を作りたい！」

と言う夢があります。

理由はいくつかあるにはあるのですが、御託を並べずシンプルに言ってしまうと「友達がほしい！」と言うのが1番の理由。

僕自身が自由な人生を生きていても、ずっと1人で世界を旅していても寂しさに襲われることが多々ありましたし、時には散財してバカ騒ぎしたいと思っても、一緒に同じようにお金を使える人がいないとつまらない。

お金があること。

時間があること。

この2つを同時に持っていないと、本当の意味での友達にはなれないと思うのです。

一緒に旅行に行こうと誘った時に、「休みが取れない・・・そもそもお金無いしさ・・・」って回答ばかり返ってきていては、僕も誘いづらくなっちゃいますよね？

そしていつの日か誘わなくなってしまうと思うのです。

だからこそ、自由にお金を稼ぐことが出来る能力と、何かに縛られなくて良い自由の両方を手に出来る「フリースタイルトレーダー」が増えれば、きっと楽しいだろうな〜と心底思うわけです。

それに、そもそもそういう人間が集まってるチームと言うか集団と言うか集まりって、ただ単純に「カッコイイ」と思いませんか？

年齢は関係ない、前職も関係ない、性別も関係ない、人種だって関係ない。

色んな人達がいて、世界中に仲間がいて、みんなが幸せそうに笑っていて、稼ぐ時にはガッツリ稼いでしまえる仲間達・・・

そういう仲間達って僕はカッコイイな〜って思うんですね。

実はこの「最強のトレーダー集団を作りたい！」と言うのが、僕がこの企画と
いうかプロジェクト、フリスタを公開している理由なのです。

僕が日本の投資教育レベルを押しあげたいと思ってチャートマスターを創業してから10年が経った2015年当時・・・。

根崎個人はその年2015年の9月2日で30歳。

それまでに、2万人もの人に指導してきたわけですが、それまでの活動は「ただ教えてきただけ」でした。

決して「最強のトレーダー集団」というチームを作ろうとしてきたわけじゃない・・・

30歳という節目をむかえ、株式会社チャートマスターも創業10年という大きな節目・・・このタイミングで、僕は2つ目の夢を叶える為に動き出す決意をしたのです！

それがこのプロジェクトの始まりなんですね。

大きな決意を持ってプロジェクトを始動させたのが2015年の6月からなのですが、現在、億トレーダー数名を筆頭に、数百数千万円規模のトレーダーは数えきれないほど輩出している、日本最大級のトレードコミュニティに成長しています。

そしてこのコミュニティで学ぶのはFXや仮想通貨の「トレード」だけではなく、自由な人生そのものなので、ここでの「成功者」という定義は、「フリースタイルトレーダー」というスタンスまで確立できて、はじめて「成功」と定義しています。





他にも沢山の学びや感動、楽しみをコミュニティの仲間とたくさん共有してきました。

コミュニティの参加者さんから「成果を出せたお礼」として、全て掲載しきれないほどのお土産やプレゼント、お手紙なんかも沢山頂きました。

これだけ多くの成果や実績を残していることが僕としては全てだと思っていますし、それだけのコミュニティを育ててきた自信にも繋がっています。

彼らが行ってきたことと言うのは、

- ・愚直にフリスタを実践した
- ・投資の原理原則をしっかりと身につけた
- ・即座に問題と悩みが解決できる環境を手に入れた
- ・共に高め合える仲間を手に入れた

大きく分ければこの4つだけです。

ただそれだけと言っても過言ではないくらい、要点をおさえれば至ってシンプルな答えなんですね。

実際に成果を出してくれている人達が「どのように感じているのか？」と言うのは、追って彼らにインタビューした「インタビュー動画」などをお届けしますので、そちらも参考にご覧になってみてください。

これからトレードで稼いで真の自由を得ていくあなたに、きっと参考になる話だと思いますので。

これだけ「確かな実績」と「多くの成功者」を生み出してきてはいますが、僕としては「まだまだこれから」で、プロジェクトとしてみればまだ道半ば・・・

もっと多くの人に成果を出して頂きたいし、成功者の数も質も可能性も、何もかもを引き上げていきたいと思っています。

このプロジェクトで僕が目指しているモノとは何なのか？
その為に必要な要素とはどういうものなのか？
これからどこに向かっていこうとしているのか？

具体的にこのプロジェクトがどのようなコミュニティかと言いますと・・・

要はフリスタを通じて「真の自由」を手に入れてもらう為のプロジェクト。

トレードで稼ぐことなんて当たり前で、その先にある自由を手に入れるレベルに達してこそ、僕の掲げる「最強のトレーダー集団」の一員です！

そういう仲間をまずは100人作りたい！

最低でも1千万円トレーダーを100名輩出することが、このプロジェクトのファーストステップだったのですが、それはほぼ達成していますので、その次は規模を1,000名まで押し上げたいと思っています！

まぐれで勝ったことがあるだけの素人トレーダーが多い中、気付けば僕はトレーダー歴10年以上になり、その間に"自由に生きる"という「1つ目の夢」は間違いなく叶えることが出来たわけですが、これは僕にとってのファーストステージでしかありません。

今は正に「2つ目の夢」を叶える為のセカンドステージ！

あなたが「フリースタイルトレーダー」として、時間にも場所にもお金にさえも縛られず、一生涯「相場」という貯金箱から、好きな時に好きなだけお金を得ることが出来る能力を身につけたいのなら、僕の掲げる「最強のトレーダー集団」の一員を目指してみませんか？

その為の手法（ツール）の詳細は、明日改めてお伝えしますので、そちらをご覧になってから考えてみてください！

今日のところはこれで以上・・・と言いたいところですが、最後にもう1点だけお伝えしておきたいことがあります。

自信と過信と無知と英知と

現在、日本にF Xが浸透しはじめて約20年ほどの歳月が経ちました。

これだけの月日経っていますから、「俺はF Xに詳しい！」「俺は投資全般を知っている！」「トレードなんか余裕だぜ！」「仮想通貨だって超詳しいぜ！」なんて人も相当増えているかと思います。

しかし・・・

果たしてそれは本当でしょうか？

本当に投資に詳しい人と言うのは、いつまでも日々研究を繰り返している人であって、いつまでも現場で学び続けている人です。

偶然うまくいっただけの事を、さも「永遠」であるかのように語り、簡単に「100%稼げます！」などの御託を並べるような人ではありません。

誰かの研究結果や成功事例を学んで分かったつもりになっている程度の人が、本当によく理解している人とは言えません。

たかが数年かじっただけの人が、投資とはこうだとかF Xとはどうだとか、仮想通貨（暗号通貨）はあーだこーだと、断定して語るのはおこがましい。

こういう人達は表面をなぞっただけで、決して本当に理解しているレベルではないのです。

本当に自信のある人は「自分はまだまだだ！」て事を知っている人です。

「投資なんて安くで買って高くで売ればいいだけだよ。」

「過去のパターンを分析すれば勝てるパターンなんか簡単に見つかるよ。」
「システムに任せておけば人の感情が入らないから余裕で勝てる。」

こういった人達のように表面だけを知っている人と言うのが1番危なくて、投資の本質や原理原則が抜け落ちているが為に、ある日どん底に突き落とされるのです。

自信と過信は似て異なるモノです。

そしてそれを、その時そのタイミングで冷静に区別することは難しいものです。

ただ、1つだけ言えること。

それは、投資"だけ"で何年もの間生活できるようになって、はじめて
「ある程度のレベルに達した」と言える状態です。

少なくとも年間1千万円程度は「意図して」稼ぎ出せるようであれば話になりません。

それとは真逆の話として・・・

「FXなんてただのギャンブルだ。」
「本当に投資で稼ぎ続けることなんて出来ない。」
「結局は商材屋や証券会社のカモにされるだけ。」

こんな話もよく耳にしますし、ネットの掲示板なんかでも見かけます。

個人的な意見としては「残念な人だな…」という感情が真っ先に出てきます。

こういう発言をされている人達が、どこまで本気で投資に取り組んだのかは僕には分かりませんし、なぜそのような発言に至ったのかも分かりません。
しかし、これこそ「無知の極み」と言うもので、日本が投資というジャンルに

おいて世界的にリテラシーの低さを指摘されている点でもあるのです。

何をもって失敗したと言っているのか？
なぜギャンブルだと言いつけるのか？
どういう方法で稼げなかったのか？
なぜ第三者の責任にしているのか？

こういう事は僕には分からないところではありますが、自分個人の経験談を勝手に大多数に当てはめ、F Xでは稼げないよ。これは無理だよ。儲からないよって。。。

言ってしまうと、

「私が上手くいかなかったのだから、あなたも上手くいくはず無い！」

って言う、その人個人の主観を一方的に押し付ける主張をしているだけに過ぎません。

僕が育ったマレーシアやアメリカでは、トレードで生活している人なんて山ほどいました。

世界的にはトレードで成功している人なんて腐るほどいるのです。

そういう「事実」を知りもせず、見ようともせず、ただ自分の主観だけを押して通し、わざわざする必要の無い批判をしたりするのは悪だと思います。

「これからF Xを始めてみよう！」
「これから頑張ろう！」
「私も世界基準に追いつこう！」

こういう意志や夢を持っている人達にとっては毒以外の何ものでもありません。こういう「無知」な人が発信する情報が蔓延してしまつては、ドンドン日本は

国際社会で置いてきぼりになってしまいます。

だから本当に勝手なことを言うのはやめてほしいです。

ネガティブな感情はネガティブな結果しか生まないのです。

本当に自分自身や自分が大切にしている人、僕達が生まれたこの国そのものを良くしていこう・・・成長していこうと思うならば、前向きな気持ちで歩いていく努力が必要なんです。

その結果として、真実を見極める「英知」が身につくのです。

ただ・・・・・・・・

素人トレーダーが**"偶然うまくいった方法"**を、さも完璧な手法だと言わんばかりに情報商材として売りさばいた結果、FXで大きな損失を出した人が沢山いるのは紛れもない事実。

ヒドイものだと、実際は当の本人はトレード自体やってもいないのに、理論だけ「それっぽい」理論をくっつけて、さも本当に稼げるかのように売りさばくという、**「情報商材を売りたいだけの人達」**が存在しているのも事実なんです。

そういった悪徳業者に騙されないようにする為には、やはり最低限の知識はあなた自身で身につける必要があると思いますし、そういう「面倒なこと」から逃げてはいけないと思うのです。

明日以降、僕があなたにお伝えする「フリスタトレード」という手法は、少なくとも真似だけしていても十分稼ぐことは出来る方法です。

10年以上に渡る僕のトレーダー人生の結晶とも言える手法なので。

しかし、最初は真似だけしていても構いませんが、少しずつでも「面倒くさい」

とか「難しい」とか、そういう気持ちになってしまいがちな「原理原則」を学ぶ努力はしてほしいのです。

世界一の投資教育機関で学び、日々の研究で突き詰めてきた僕が、1つ1つしっかりお伝えしていきますので、時間がかかっても構わないのでしっかり学んでほしいのです。

明日のレポートでは、そういった「原理原則」部分に関しても触れていきますので、ゆっくりで構いませんから、しっかりついて来てくださいね！

ひとまず、現状のあなたがどれくらい投資を理解されているかを知っておきたいので、下記にちょっとした問題を出題させていただきます。

※今後発信していくノウハウや講義の参考にしたいので。

もしあなたが、過去に僕からトレードを学んだことがあれば「超簡単」な問題かと思いますが、復習の意味もこめて回答をお願いしますね！

問題です。

箱の中にボールが100個入っています。

ボールは2種類あって、**白のボールが60個。赤のボールが40個**あります。

箱の中からボールを引いていくのですが、1個引いては1個戻し、1個引いては1個戻し・・・としていくので、箱の中には常に100個のボールが入っている状態になります。

箱の中から「どちらの色のボールを引くか？」に賭けていくゲームを行います。

白のボールを引いた場合は賭け金は2倍になり、
赤のボールを引いた場合は賭け金が0（ゼロ）になってしまう。

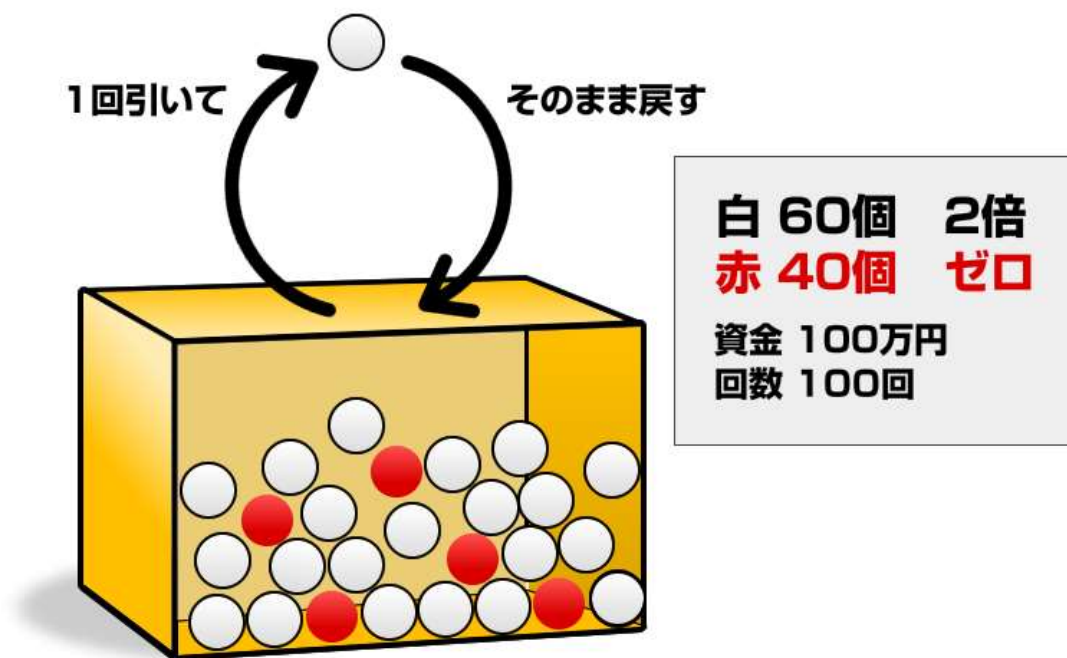
レートと言うか条件は上記の通りで、賭け金に関しては1円以上であれば、

いくら賭けても構いませんが、参加者全員の条件を統一したいので、

保有資金は100万円。

ボールを引く回数は100回。

という条件を設けます。



ボールを100回引くのは"必須"でパスは禁止。必ず100回引いてもらいます。

勝率60%で資金が2倍になりますから、理論上は"勝てる"という条件なのですが、ここで「問題」に入りたいと思います。

上記条件下で『利益が"最大化"する賭け額は？』

これが問題となりますので、是非あなたも考えてみてください。
答えが分からなくても今は全然問題ありません。

まずは「考えてみる」という事が大切なので、5分だけで構いませんから、是非考えてみてください。

5分間しっかり考えて頂いた上で、最後は「あなたならどうするか？」で、答えて頂いても構いませんので、あなたの答えを聞かせてくださいね！

回答は下記までメールで送って頂けたら、必ず僕が目を通して頂きます。

後、あなたの「トレード歴」もお聞かせ頂きたいので、併せて教えて頂けると幸いです。

首を長くしてあなたからのメールをお待ちしていますので、よろしくお願いします！

メール：info@chart-ma.com

件名：ボール問題の回答。

質問1：あなたのトレード歴は？

質問2：あなたの賭け額は？（※理由があれば合わせてお答えください）

質問3：このレポートへの感想があればお聞かせ下さい。

「質問2」が先ほどの問題への回答となっています。

正しいか間違っているか？ではなく、今のあなたの思う通りに回答して頂ければと思います。

一見するとどうでも良さそうな事ですが、ここに面白い秘密が隠されているもので、金融の世界ではこういう「どうでも良さそうな事」をロジカルに紐解いて組み立てていくのです。

そういう意味では明日のレポートでお届けする「解答」も、楽しみにしててくださいね！

そんな訳で・・・

思っていたよりもずいぶん長くなってしまいましたが、
今日のレポートはこれで以上となります。

明日は「フリスタトレードの秘密」という確信部分のレポートをお届けします。

このノウハウは **FX** に限らず株や仮想通貨にも通用する「トレードノウハウ」でして、僕のコミュニティでは仮想通貨でボロ儲けした人や、株でコツコツ稼ぎ続けている人など様々な人がおられるので、是非こちらのレポートを楽しみにしててください。

ここからあなたの人生が大きく変わるほど重要なレポートなので、
一言一句見逃さないようにご注意ください。

それでは最後までお付き合い頂きありがとうございました！

関東財務局長(金商)第 2086 号
株式会社チャートマスター
根崎優樹